



第1回 9月8日(金)

酸素の功罪 予防医学

～サイエンスコミュニケーションで健康に生きる～
 酸素は生きるために必要不可欠ですが、活性酸素に変わると、酸化ストレスが生じて病気や老化が進行します。身体は抗酸化で対抗しますが、これも行きすぎると酸化ストレスになり別の病気を発症します。健康を維持するためには、科学的な根拠に基づいて判断する力を身につけることが大切で、それを可能にするのがサイエンスコミュニケーションです。

同志社大学 生命医科学部
 医生命システム学科 教授 **野口 範子**

身体の声聴く健康法 リハビリテーション学

～バイオフィードバックの新しい可能性～
 バイオフィードバックとは、バイオ(生体)の情報(身体の声)をフィードバック(聴いて自己調整)する健康法として医療や心理療法で広く使われています。最近ではスマートフォンを使って簡単にトレーニングができるようになりました。そこで、講演では、心拍や呼吸を使ったバイオフィードバックの新しい可能性について紹介します。

奈良学園大学 保健医療学部
 リハビリテーション学科長・教授 **辻下 守弘**

交配組み合わせがブルーベリーの果実品質に及ぼす影響 果樹園芸学

～栽培の安定化に向けて～

ブルーベリーの栽培において、他家受粉を促進することは重要です。他家受粉が行われると、果実中の種子数が増加し、着果率および果実サイズが向上します。私たちは、ブルーベリーの種子形成と果実発育の関係を明らかにすることを目指しています。本講演では、日本で栽培されているブルーベリーの育種過程にも触れつつ、受粉と果実品質に関する研究事例を中心に、栽培の安定化を目指す取り組みについて解説します。

京都大学 大学院農学研究所 附属農場 助教 **長坂 京香**

第2回 9月15日(金)

日本建築の仮設性、可変性 建築史学

～伝統木工技術に日本建築の特質をみる～
 修理や増・改築、時には移築を繰り返すなどして使いつづけられてきた日本の木造建築。季節や場面に応じてしつらえや飾りを変えるなど、日本の建築はいつも可変的で仮設的だといえます。そんな日本建築の特質を、伝統的な木工技術から解き明かしてみます。

大阪電気通信大学 工学部 建築学科 教授 **矢ヶ崎 善太郎**

テクノロジーの進歩と保険 保険学

～保険の未来について考える～
 近年におけるテクノロジーの進歩は、これまでにない新しいタイプの保険を登場させるとともに、「Insurance(保険)」と「Technology(テクノロジー)」を合わせた「InsurTech(インシュアテック)」という言葉を生み出すに至っています。本講座では、テクノロジーの進歩がどのように保険を変えたのか、変えていくのかについて考えていきます。

同志社女子大学
 現代社会学部 社会システム学科 教授 **大倉 真人**

身近な発酵食品から学ぶ バイオサイエンス 微生物学

～清酒酵母の謎に迫る～

お酒、パン、漬物など、私たちの生活に身近な発酵食品を作る上で欠かせないのが、酵母と呼ばれる微生物です。食品がなぜ発酵しおいしさを生み出すのかについては古くから神秘的な現象と考えられてきましたが、科学の進んだ現代でも多くの謎が残されています。そんな酵母の魅力と発酵研究の最前線についてご紹介します。

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科
 バイオサイエンス領域 准教授 **渡辺 大輔**

第3回 9月22日(金)

リンゴとナシの雑種をつくる 園芸科学

～異種ゲノムの良いところ取りによる果樹の育種～
 私たちが普段から口にしている農作物は、長い歴史の中で人の手によって品種改良されてきました。皆さんは農作物の品種改良と聞いて、どんな方法を想像するでしょうか。本講演では、リンゴやナシといった果物の品種改良の歴史に触れながら従来法の課題を学び、それを克服するための新技術についてお話しします。

京都府立大学 大学院 生命環境科学研究科 講師 **森本 拓也**

左利きの科学と社会 神経心理学

～多様性と共生について考える～
 世界の人口の約10%が左手利きです。なぜ左手利きは少数派なのでしょう？ 右手利きの人と左手利きの人の脳には違いがあるのでしょうか？ 右手利き社会で生活する左手利きの人にはどのような不便があるのでしょうか？ 左手利きについての様々な疑問を通して、「多様性」と「共生社会」について考えます。また、最近話題になっている左右識別困難(左右盲)についてもお話ししたいと思います。

関西福祉科学大学 教育学部 教育学科長・教授 **山下 光**

関連講演に引き続き、**国立国会図書館関西館 資料展示「左手をご覧ください！」**の説明を行います。

国立国会図書館関西館 資料展示

「左手をご覧ください！」

「左利き」という身近な個性について、そして利き手に関わらず誰もが暮らしやすい社会について、この機会に考えてみませんか？ 左利きに関する本や雑誌など約70点を、歴史、科学、社会等の切り口から紹介します。

日時：9月21日(木)～10月17日(火) 9時半～18時(日・祝 休館)
 詳細は、[国立国会図書館 Webサイト](#)に掲載予定

関西館 資料展示
 関連講演